

1. 対象範囲

「競争的研究資金制度」における応募受付、審査、採択、交付、採択課題管理、評価及びこれら業務を行うために必要となる研究者情報の管理等に係る業務並びにこれら業務を処理するシステム

2. 最適化の基本理念

- 1) 応募受付から課題決定までに行う審査等の過程を効率化し、研究者に対する研究資金の**交付の早期化**を図る
- 2) 採択案件の**不合理な重複や過度の集中の回避**及び応募資格者の適切な管理を支援する
- 3) 予算の増大に伴う応募件数の増加及び採択課題の増加に伴う**課題管理の負荷軽減**を図る
- 4) 応募の際に提出される情報には、研究者の個人情報や独創性が含まれていることから、データの完全性、信頼性等の維持、利用者アクセス権の厳密な管理等、**情報セキュリティに配慮したデータ管理**を行う

3. 現状及び課題等

< 政策等における課題 >

第2期科学技術基本計画（平成13年3月30日閣議決定）及び「競争的研究資金制度改革について」（平成15年4月21日総合科学技術会議）より

不必要な重複の排除や**過度の集中**の回避

研究者に対する**早期の資金交付**

PD・POによる適切な審査員割り振り、審査、評価及び採択課題の適切な管理

予算の増加による応募件数・採択課題の増加に伴う審査業務・課題管理等業務の**負荷増大への対応**

< 業務の特徴 >

審査方法（書面・面接・ヒアリング等）、交付方法（補助金、委託等）等は特に**各事業の独自性**が高い

< 最適化の課題 >

審査・決定・評価等については各事業において適切な形で業務・システムの見直しを行いつつ、業務処理の統一化・標準化の考え方を基本として、**制度横断的に研究者及び研究課題情報を管理**していく必要がある

4. 見直し方針

- 1) 府省共通研究基盤データベースの構築
全制度横断的なチェック機能を行うための**府省共通研究基盤データベース**を構築
- 2) 電子受付窓口の整備
重複等のチェックと一体運用が可能な**電子受付窓口の整備**
- 3) データの標準化と公募要領等の共通化
府省共通研究基盤情報の標準化及び公募要領、応募書類等の**記載事項の共通化**を図る
- 4) 研究成果の公表窓口の整備
府省を超える複数の制度の研究成果情報に横断的かつ容易にアクセスする手段として、**研究成果の公表窓口を整備**する
- 5) 既存システムとの関係について
既存システムの更新等の際に、重複する機能を廃止し、本件で構築する各システムに順次移行する。
特に、総合科学技術会議における政府研究開発データベースについては、統合も含め、十分な調整を図る。
- 6) 補助金業務の最適化との関係について
経済産業省が担当府省となって実施している補助金業務等の最適化と重複しないよう整合性を図る。
- 7) 情報セキュリティ
情報セキュリティの確保を徹底したデータ管理を行う。
- 8) 独立行政法人の取り扱いについて
独立行政法人等の自主性に配慮しつつ、本業務についての独立行政法人等による最適化の確実な実現に向けた措置を講じる。
- 9) 外部委託の推進について
職員による判断を必要としない業務処理その他業務・システムを担当する組織の中核的な知識・能力（コア・コンピタンス）を要しない業務処理については、外部委託の積極的な推進を行うことを検討する。